

官邸の連絡室に

米原子力規制委

未曾有の原発事故に対しては同盟国である米国も懸念を強めた。12日に電話で日米首脳が協議。

福山哲郎官房副長官の調書では官邸に設置した東電などとの連絡室に「米原子力規制委員会（NRC）のメンバーがいた」という。

米国が懸念したのは、冷却用プールに大量の使用済み核燃料があった4号機だ。細野氏は政府内で最悪のシナリオを検討

するよう原子力委員会の近藤駿介委員長に依頼した。「4号機（の冷却水）が全部空になった場合に、屋内退避（が必要な区域）は70キロになる」との分析があったと振り返った。

米国以外にもフランスやロシアも事故対応に協力する姿勢を示した。海外主要国との窓口役をつとめた民主党の長島昭久衆院議員の証言によると、ロシアは原子力潜水艦の事故などを想定して造った除染ができる船の提供を持ちかけた。